

茂庭塾だより

茂庭台中学校
令和5年
5月1日(月)
第1号



「みんなで茂庭塾」開講！

茂庭台中の生徒は、授業に真面目に取り組んでいます。しかし、授業で「わかった！」と理解していても、後からテストをしようとうまく解けない生徒も多いようです。「時間が経って忘れてしまうのではないか」「家庭学習の仕方が分かれば、もっと力が伸びるはずだ」「繰り返しが必要だ！」これは、教職員の振り返りで多く出た意見です。

では、生徒の力を伸ばすために、どうしたらよいか…私たちは何度も話し合いました。そして、昨年度から新たな挑戦を始めました。それが「茂庭塾」です！

- この塾の特徴は…
- 生徒が自分で、参加する教科を選択できます。
 - 5教科に分かれて、茂庭台中学校の教師全員で教えます。
 - 月1回放課後30分間です。その後も必要な生徒に個別支援をします。
 - 何回間違っても、何回聞かれても、分かるまで笑顔で教えます。

入塾の流れ

- 1 生徒が茂庭塾の学習メニューを確認する。
- 2 メニューを見て、自分の苦手な教科や内容に合わせて参加する教科を選ぶ。
- 3 放課後に30分の弱点補強コースを受講する。(全員参加、部活動は中止です。)
- 4 個別のアドバイスを受けて、次回まで自分で家庭学習を継続する。→ 質問は大歓迎

私たちは、茂庭塾の30分間だけで、学力が向上するとは考えていません。この塾のねらいは、生徒が家庭で自ら学習する習慣や方法を身に付け、繰り返しの学習の中で、基礎的な知識及び技能を習得できるようにすることです。そこで、合わせて1日1ページの自学ノートの点検も行っています。

4月27日(木)に、今年度最初の「みんなで茂庭塾」が行われました。今年度も、教職員全員で全力指導いたします。

御家庭で、お子さんが何の教科に参加したのか等、話題にしていただければと思います。

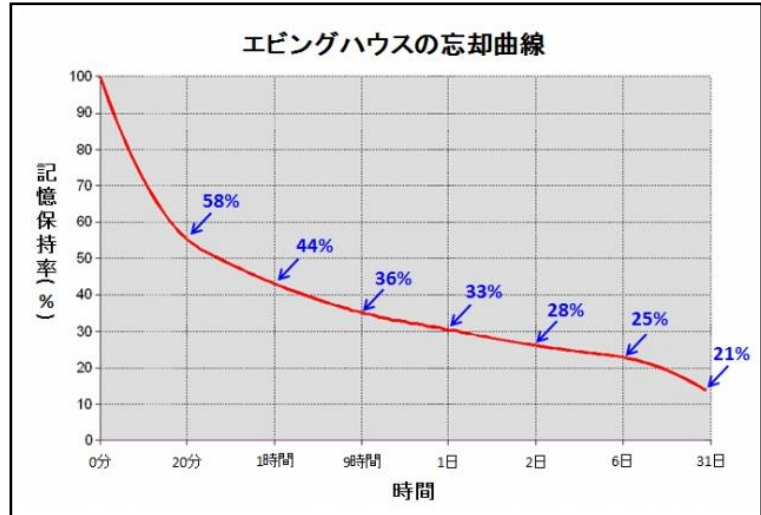


参考資料

エビングハウスの忘却曲線から

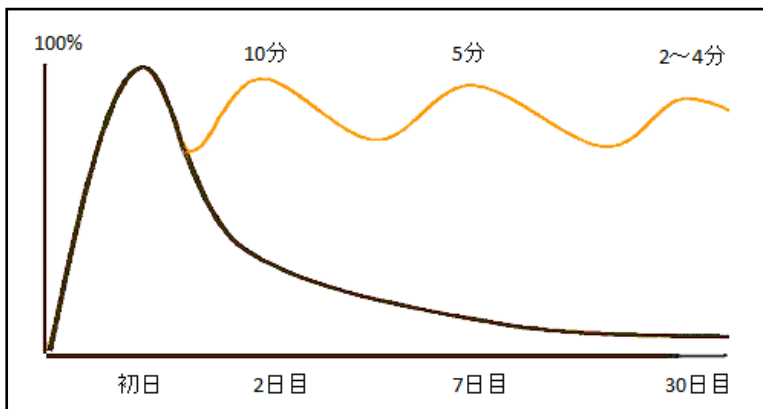
ドイツの心理学者、ヘルマン・エビングハウスは無意味な音節を記憶し、時間と共にどれだけ忘れるかを数値化しました。そこで出た結果は次の通りです。

人は忘れる生き物です。
グラフから、人が何かを学んだ時、
20分後には42%忘れ
1時間後には56%忘れ
9時間後には64%忘れ
1日後には67%忘れ
2日後には72%忘れ
6日後には75%忘れ
31日後には79%忘れて
いることがわかります。



では、記憶を保持するには、どうしたらよいのでしょうか。

次のグラフを見てください。黒い線が記憶です。学んで知識を得ても、どんどん忘れていきます。



しかし、学習した後24時間以内に10分間の復習をすると、記憶率は100%に戻ります。そして、次回の復習は1週間以内に、たった5分すれば、記憶がよみがえるのです。そして、次は1か月以内に2~4分復習すれば、また記憶は復活するのです。

授業後1日以内、1週間以内、1か月以内に復習すれば、中間テストや期末テストの時にほとんどの情報を覚えていることができます。夜寝る前にちょっとだけ復習すれば、かなりの違いが出てきます。もし復習をしなければ、テスト前にまた最初から勉強し直さなくてはなりません。エビングハウスの忘却曲線によると、1か月後には80%近くの情報を忘れていているからです。

以上のように、授業中に分かっているとしても、その時だけでは必ず忘れるということが科学的にも証明されています。学んだ知識を長期間に渡って使える状態にしておきたいのであれば、その日に学習したことを家庭で復習することが絶対に必要なのです。

本校では1日1ページの自学を宿題とし、毎日の自学ノート点検を行っています。御家庭でも励ましていただけると幸いです。